

学期／Semester	2024年度／Academic Year 後期／Second Semester
曜日・校時／Day・Period	水/Wed5
開講期間／Course duration	2024/09/30 ～ 2025/03/31
必修選択 ／Required / Elective	選択 /elective
単位数（一般/編入/留学） ／Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード ／Time schedule code	20240590090502
科目番号／Course code	05900905
科目ナンバリング・コード ／Numbering code	GEOC 11261_001
授業科目名／Course title	●平和講座（総合科学科目）／On the Peace
編集担当教員 ／Instructor in charge of the course syllabus	友澤 悠季／Tomozawa Yuki,関口 達夫／Sekiguchi Tatsuo,国武 雅子／Kunitake Masako,戸田 清／Toda Kiyoshi,森永 玲／Morinaga Ryo,富塚 明／Tomiduka Akira,中田 英樹／Nakata Hideki,昔 宣希／Suk Sunhee
授業担当教員名（科目責任者） ／Instructor in charge of the course	友澤 悠季／Tomozawa Yuki
授業担当教員者(オムニバス科目等) ／Instructor(s)	友澤 悠季／Tomozawa Yuki,関口 達夫／Sekiguchi Tatsuo,国武 雅子／Kunitake Masako,戸田 清／Toda Kiyoshi,森永 玲／Morinaga Ryo,富塚 明／Tomiduka Akira,中田 英樹／Nakata Hideki,昔 宣希／Suk Sunhee
科目分類／Course Category	A 科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目
対象年次／Intended year	1,2,3,4
講義形態／Course style	講義 /Lecture
教室／Class room	教養教育A棟21／RoomA-21

更新日／Last update	2024/03/14
対象学生（クラス等） ／Intended year (class)	全学生
担当教員Eメールアドレス ／E-mail addresses	ytomozawa▲nagasaki-u.ac.jp（メールを送信する際は▲を@に変更して送信してください）
担当教員研究室 ／Office	環境科学部4階環439
担当教員TEL ／Tel	095-819-2784
担当教員オフィスアワー ／Office hours	まずメールでアポイントをお願いします。
授業の概要及び位置づけ ／Course overview	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して安全と生存を保持しようと決意」した。1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。
授業到達目標 ／Course goals <u>DP（ディプロマ・ポリシー）へのリンク</u>	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができるようになる（DP-4,DP-6）。
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力（1つ以上3つまで） ／Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力／Generic Competence ☒ 倫理観／Ethics ☒ 多様性の理解／Understanding Diversity ☐ 主体性／Autonomy ☐ 協働性／Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心／Interest in international / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法 ／Teaching method to stimulate students' thinking	☒ A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over（発問への回答、授業内の小レポート、小テスト、振り返りシート、コメントシート、クリッカーなど） / (answer to questions, short report in class, quizzes, reflective sheet, comment sheet, click response analyzer, etc.) ☐ B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives（ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、ディベートなど） / (pair work, group work, discussion, debate, etc.) ☒ C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills（問題演習、体験学習、実験、実習、実技、フィールドワークなど） / (problem exercises, experience learning, experiments, practical training, practical skills, field work, etc.)

	□D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems (企画立案、論理的な解の提示、プロジェクト学習、卒業研究など) / (planning, presenting logical solutions, project learning, graduation research, etc.) □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above (自由記述：備考欄にご記入ください) / (free description: please fill in the remarks column) □F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers																																																
成績評価の方法・基準等 ／Method of evaluation	平常点60%+レポート40%=100%のうち、60%以上を合格とする。平常点は毎回異なる講師が講義を行い、その都度レスポンスシートを課す形式で評価する。																																																
各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） ／Course contents of each lesson	<table><tr><th>No.</th><th>回（日時） ／Time (date and time)</th><th>授業内容 ／Contents</th></tr><tr><td>1</td><td>第1回（10/2）</td><td>イントロダクション（友澤悠季）【対面】</td></tr><tr><td>2</td><td>第2回（10/9）</td><td>山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】</td></tr><tr><td>3</td><td>第3回（10/16）</td><td>被爆と被爆者運動（川副忠子）【対面】</td></tr><tr><td>4</td><td>第4回（10/23）</td><td>外国人被爆者（関口達夫）【対面】</td></tr><tr><td>5</td><td>第5回（10/30）</td><td>継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】</td></tr><tr><td>6</td><td>第6回（11/6）</td><td>戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】</td></tr><tr><td>7</td><td>第7回（11/13）</td><td>戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】</td></tr><tr><td>8</td><td>第8回（11/27）</td><td>本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】</td></tr><tr><td>9</td><td>第9回（12/4）</td><td>ドイツにおける戦争との向き合い方（園田尚弘）【対面】</td></tr><tr><td>10</td><td>第10回（12/11）</td><td>長崎原爆資料館と原爆被害、戦争加害（関口達夫）【対面】</td></tr><tr><td>11</td><td>第11回（12/18）</td><td>ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【リアルタイムオンライン形式】</td></tr><tr><td>12</td><td>第12回（1/8）</td><td>ジェノサイドについて（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】</td></tr><tr><td>13</td><td>第13回（1/15）</td><td>韓国の歴史教育（菅宣希）【対面】</td></tr><tr><td>14</td><td>第14回（1/22）</td><td>Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】</td></tr><tr><td>15</td><td>第15回（1/29）</td><td>カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い（下田順子）【対面】</td></tr></table>	No.	回（日時） ／Time (date and time)	授業内容 ／Contents	1	第1回（10/2）	イントロダクション（友澤悠季）【対面】	2	第2回（10/9）	山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】	3	第3回（10/16）	被爆と被爆者運動（川副忠子）【対面】	4	第4回（10/23）	外国人被爆者（関口達夫）【対面】	5	第5回（10/30）	継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】	6	第6回（11/6）	戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】	7	第7回（11/13）	戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】	8	第8回（11/27）	本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】	9	第9回（12/4）	ドイツにおける戦争との向き合い方（園田尚弘）【対面】	10	第10回（12/11）	長崎原爆資料館と原爆被害、戦争加害（関口達夫）【対面】	11	第11回（12/18）	ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【リアルタイムオンライン形式】	12	第12回（1/8）	ジェノサイドについて（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】	13	第13回（1/15）	韓国の歴史教育（菅宣希）【対面】	14	第14回（1/22）	Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】	15	第15回（1/29）	カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い（下田順子）【対面】
No.	回（日時） ／Time (date and time)	授業内容 ／Contents																																															
1	第1回（10/2）	イントロダクション（友澤悠季）【対面】																																															
2	第2回（10/9）	山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】																																															
3	第3回（10/16）	被爆と被爆者運動（川副忠子）【対面】																																															
4	第4回（10/23）	外国人被爆者（関口達夫）【対面】																																															
5	第5回（10/30）	継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】																																															
6	第6回（11/6）	戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】																																															
7	第7回（11/13）	戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】																																															
8	第8回（11/27）	本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】																																															
9	第9回（12/4）	ドイツにおける戦争との向き合い方（園田尚弘）【対面】																																															
10	第10回（12/11）	長崎原爆資料館と原爆被害、戦争加害（関口達夫）【対面】																																															
11	第11回（12/18）	ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【リアルタイムオンライン形式】																																															
12	第12回（1/8）	ジェノサイドについて（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】																																															
13	第13回（1/15）	韓国の歴史教育（菅宣希）【対面】																																															
14	第14回（1/22）	Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】																																															
15	第15回（1/29）	カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い（下田順子）【対面】																																															
事前・事後学修の内容 ／Preparation & Review	事前・事後学習として、授業期間中の任意の日時に、長崎人権平和資料館（月曜休館、JR長崎駅前のNHK長崎放送局横の西坂をのぼり、カトリック26聖人記念館のすぐ先）を訪問してレポートを書いて頂きます。【4h】																																																
キーワード ／Keywords	戦争、暴力、構造的暴力、平和、格差、原爆、原発、有事体制、集団的自衛権、公害																																																
教科書・教材・参考書 ／Materials	教科書は指定しない。プリント資料の配布、スライド、映像の視聴などを活用して、講義の理解を深める。参考書として、戸田清『人はなぜ戦争をするのか』（法律文化社、2019）、高橋真司・舟越耿一編『ナガサキから平和学する！』（法律文化社、2009）、ヨハン・ガルトゥング・藤田明史編著『ガルトゥング平和学入門』（法律文化社、2003）。 関連）戸田清研究室ホームページ http://todakiyosi.web.fc2.com/																																																
受講要件（履修条件） ／Prerequisites	各回に真摯な受講態度で臨むことが求められる。例年、受講希望者生が多く、抽選を実施しているため、安易な気持ちで受講登録を行ったり、学期途中で受講を放棄したりすることのないようお願いしたい。																																																
アクセシビリティ ／Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先																																																

	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 ／Remarks	【実施方法について】原則対面形式で行うが、一部リアルタイムオンライン形式で実施する回がある。詳しくは初回に説明する。初回がリアルタイムオンライン形式になる場合は、前日までにLACS連絡事項で通知するので確認しておくこと。
学生へのメッセージ ／Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) ／Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用） ／Name / Details of practical experience / Contents of course	川副 忠子 氏：1歳で被爆後、小学校教員として勤める。長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会、原水爆禁止長崎県民会議等での活動経験を有する。 森永 玲 氏：長崎新聞社報道部を経て同社取締役。長崎の平和運動に関する取材経験と複数の編著書がある。 関口 達夫 氏：フリージャーナリスト。元・NBC長崎放送社員として長年、国内・海外を取材し、戦争とその加害・被害に関する報道番組を制作した経験を有する。 西岡 由香 氏：漫画家。「さらん」のペンネームも持つ。1999年に平和団体ピースボート主催による地球一周クルーズへの参加をきっかけに、郷土史（キリスト教関係など）と長崎原爆をテーマにした漫画を数多く執筆している。

学生の思考を活性化させるための授業手法／Lesson method to stimulate students' thinking <u>詳しくはこちら</u>	☑A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ☐B.多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ☑C.技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers
--	--

No.	回（日時） ／Time (date and time)	授業内容 ／Contents
1	第1回（10/2）	イントロダクション（友澤悠季）【対面】
2	第2回（10/9）	山口彊と二重被爆（原田小鈴・山崎年子）【対面】
3	第3回（10/16）	被爆と被爆者運動（川副忠子）【対面】
4	第4回（10/23）	外国人被爆者（関口達夫）【対面】
5	第5回（10/30）	継承の回路としての漫画（西岡由香）【対面】
6	第6回（11/6）	戦争と性暴力(1)満蒙開拓団と女性（国武雅子）【対面】
7	第7回（11/13）	戦争と性暴力(2)日本軍「慰安婦」問題（国武雅子）【対面】
8	第8回（11/27）	本島等（1922-2014）と戦争責任の問題（森永玲）【対面】
9	第9回（12/4）	ドイツにおける戦争との向き合い方（園田尚弘）【対面】
10	第10回（12/11）	長崎原爆資料館と原爆被害、戦争加害（関口達夫）【対面】
11	第11回（12/18）	ラテンアメリカからの思考（中田英樹）【リアルタイムオンライン形式】
12	第12回（1/8）	ジェノサイドについて（戸田清）【リアルタイムオンライン形式】
13	第13回（1/15）	韓国の歴史教育（菅宣希）【対面】
14	第14回（1/22）	Q&Aで考える日米安保（冨塚明）【対面】
15	第15回（1/29）	カネミ油症事件の現在—食品公害との戦いと闘い（下田順子）【対面】